

## ひきこもり支援に関する研修・講演会について

令和元年度は、地域の愛育委員会や精神保健福祉連絡会においてひきこもり支援についての講演・ひきこもり経験者（ピアサポーター）による体験発表等を行いました。今後も地域での活動も続けていきます。

## ギャンブルからの回復支援プログラム OCAT-G【オキャットG】を開始しました！

令和元年より、ギャンブルの楽しみ方を改めたいと願う方、ギャンブルと上手く付き合えず困っている方を対象に、回復支援プログラムを開始しました。同じギャンブルの悩みを抱える仲間と一緒に、ギャンブルに頼らない生き方を取り戻すことを目指しています。



マスコットキャラクター

### プログラム概要

#### 全5回（月1回、120分）定員は10名【秋頃開催予定】

- 主に「自分のギャンブル問題の整理」「ギャンブル障がいの理解」「ギャンブルの再発防止に向けた具体的対処と今後への備え」をワークブックを用いて学びます。
- 学んだことを日常生活の中で実践に移していくことで、ギャンブルに頼らない生活の実現を目指します。

### 対象者

#### 岡山市内在住の方で、次の条件をすべて満たす方です。

- ①ギャンブルの楽しみ方を改めたいと考えているご本人。
- ②依存症以外の何らかの精神疾患（統合失調症、うつ病など）で、精神科・心療内科に通院していない方。
- ③当センターでの事前面接の結果、本プログラムを受けることが適当と認められた方。
- ④全5回出席可能な方。

まずはお気軽にこころの健康センターまでご相談ください。

お問い合わせ ☎086-803-1273【岡山市こころの健康センター】

## 相談のご案内

岡山市こころの健康センターでは、こころの悩みや精神症状への対応について、ご本人やご家族などからの相談を受け付けています。

ご相談されたい場合は、まずお電話ください

相談専用電話：086-803-1274

時間 9:00～12:00 / 13:00～16:00（土日祝日・年末年始を除く）



### 来所相談

電話相談の内容から、来所相談に来ていただくことが適当と判断した場合には、来所相談のご案内をいたします。

# 岡山市こころの健康センターだより

第11号

令和2年3月  
発行

## 岡山市こころの健康センター

〒700-8546 岡山市北区鹿田町一丁目1-1 岡山市保健福祉会館4階

TEL: 086-803-1273 FAX: 086-803-1772

URL [http://www.city.okayama.jp/hofuku/kokoroc/kokoroc\\_00051.html](http://www.city.okayama.jp/hofuku/kokoroc/kokoroc_00051.html)



## 10年目に入った 「ひきこもり地域支援センター」

所長 太田 順一郎



岡山市こころの健康センターは、設置2年目の平成

22年7月に「ひきこもり地域支援センター」を開設しました。今年（令和元年7月）でその活動が10年目に入ったことになります。そこで、今回のこころの健康センターだよりでは、あらためてひきこもり地域支援センターの活動をご紹介します。

この「ひきこもり地域支援センター」というのは、厚生労働省が平成21年4月に開始した「ひきこもり対策推進事業」の中で、地域におけるひきこもり支援対策の「核」として設置が進められてきた機関です。事業開始以来全国の自治体で少しずつ設置が進み、平成30年4月の相模原市の開設で、全ての都道府県・政令指定都市に置かれたことになりました。ひきこもり地域支援センターは、当初第1次相談機関としての役割が重視されていました。ところが、この数年の施策見直しの中で、より専門性の高いひきこもり支援機関としての機能が期待されるようになってきました。岡山市ひきこもり地域支援センターも、ひきこもり相談の入り口として、ひ

きこもり現象に関連した相談ならどのようなものでも引き受けることを第一に考えていますが、精神保健福祉領域の専門機関が運営しているメリットを活かし、ひきこもりの心理機制的理解に基づく専門性の高い支援を自前で継続的に提供していけるところが、われわれの強みだとも考えています。

「ひきこもり」という現象は、非常に多様な状態を含んでいます。その多様な状態のごく一部にスポットが当たり、さまざまな誤解を受けることも少なくありません。最近であれば、事件や犯罪と結び付けて語られることもあり、また就職氷河期と結び付けて語られることもあり、その短絡的な捉え方には呆れてしまいます。私たち岡山市地域ひきこもり支援センターは、相談に来られる方一人一人がそれぞれ個別の困難と個別のニーズを抱えておられるということを大切に、来談者それぞれに合った支援を提供できるよう日々努めていきたいと考えております。



